

## 《Lesson 1》 新しい助動詞

助動詞とは can や will のように、動詞に「可能」「必然」「義務」「意思」といった意味を足す際に使われる単語です。今回は「～すべき」や「～できた」といった以下の助動詞を紹介していきます。

### should / must / \*have to / could / may / \*\*shall

（ \*have to は、一般動詞の文だが助動詞の役割を果たします。  
\*\*shall は、ここでは疑問文のみ。 ）

(1) **should** = ～すべき

<例> You **should** eat this. (あなたは、これを食べる **べき**です)

He **should** take this class, too. (彼も、この授業を取る **べき**です)

(2) **must** = ～しなくてははいけない (have to と同じ意味)

= ～ に違いない

<例> He **must** stay here. (彼は、ここにいないと **いけません**)

They **must** know this. (彼らは、これを知っているに **違いない**)

(3) **have to** = ～しなくてははいけない (must と同じ意味)

<例> I **have to** finish my homework. (私は宿題を終わらせないと **いけません**)

She **had to** go there. (彼女は、そこに行く必要が **ありました**)

プラス+1 「～しなくてははいけない」という意味の **must** と **have to** の使い分け

基本的に「～しなくてははいけない」という意味の **must** と **have to** は同じ使い方をするのですが、**must** は過去形にできないため「～しないといけませんでした」と言いたい場合は、**have to** の過去形である **had to** を使われます。また「～しないといけなくなるでしょう」と未来のことを言いたい場合も、**will** と **must** をつなげることができないため **will have to** の形となります。

<例> I **had to** do this yesterday. = ○ (I **musted** do this yesterday. = ×)

I **will have to** go to Kyoto. = ○ (I **will must** go to Kyoto. = ×)

(4) **could** = ～できた (can の過去形)

<例> He **could** ask me. (彼は、私にきくことが **できました**)

You **could** use this computer. (あなたは、このパソコンを使うことが **できました**)

(5) **may** = ～してもよい (can の丁寧な言い方)

= ～かもしれない

<例> You **may** go home. (あなたは、帰宅してもよいです)

She **may** come to the party. (彼女は、パーティーに来るかも **しれません**)

## 【作り方】

ステップ 1. 助動詞を除いた、一般動詞の**肯定文**を作る。

ステップ 2. 助動詞を **一般動詞の前に足す** (この際、動詞を原形に戻す)。

<例 1> 「あなたはこれを食べるべきです」という文を作る場合。

ステップ 1. 助動詞を除いた、一般動詞の**肯定文**を作る。→ 「あなたはこれを食べます」

You eat this.

ステップ 2. 助動詞を **一般動詞の前に足す** (この際、動詞を原形に戻す)。

You **should** eat this.

<例 2> 「彼女はパーティーに来るかもしれません」という文を作る場合。

ステップ 1. 助動詞を除いた、一般動詞の**肯定文**を作る。

→ 「彼女はパーティーに来ます」

She comes to the party.

ステップ 2. 助動詞を**一般動詞の前に足す** (この際、動詞を原形に戻す)。

She **may** come to the party.

### プラス+1 強調で使われる do / does / did

専門的なことですが、一般動詞の疑問文や否定文で登場する do / does / did の品詞は助動詞となります。しかし、will や can といった一般的な助動詞とは使い方が少し異なりますので「助動詞」であることをあまり意識する必要はありません。ちなみに助動詞の do / does / did は「強調」の意味で肯定文でも使うことができます。例えば、I do need this. というと「私はこれが必要なんでって」や「私はこれが本当に必要です」といった意味になります(会話ではよく登場する形です)。

<例> I **do** need this. (私はこれが本当に必要です)

She **does** \*know your name. (彼女は、あなたの名前をしっかりと覚えています)

I **did** \*do my homework. (僕は、ちゃんと部屋を掃除しました)

(\*do/does/did を助動詞として使う際は、他の助動詞の時と同じように一般動詞を原形に戻す)